

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

別添2（期間B、重点措置区域用）

## 店舗ごとの協力金支給申請額計算書

店舗名（屋号）	
---------	--

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。  
支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

**【売上高方式】** ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

中小企業又は個人事業主ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい

いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月の売上高は1日あたり7.5万円を超えますか？  
(1日あたりの売上高 = 5月と6月の売上高の合計 ÷ 61)

売上高減少方式で申請  
(裏面へ進みます)

はい

いいえ又は不明

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月と令和3年の5～6月の売上高減少額が1日あたり2.5万円を超えている場合は、売上高減少方式も選択可能です。

支給額は1日あたり3万円です。  
以下を記入して支給額を確定してください。

30,000円 ×	時短協力日数 (最大29日) 日	=	当該店舗の支給額 円
-----------	------------------	---	------------

上記内容で申請します (確定申告書等の写しは不要)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年5月の売上高 ① 円	+	令和元年又は令和2年6月の売上高 ② 円	=	① + ② ③ 円
----------------------	---	----------------------	---	-----------

③ 円 ÷ 61 日 × 0.4 = ④ 円

※確定申告書等の写しが必要です。  
※①と②の売上高は、同じ年の実績で統一してください。

千円単位切上

1日あたり支給単価 ⑤ 000円	×	時短協力日数 (最大29日) ⑥ 日	=	当該店舗の支給額 ⑦ 000円
------------------	---	--------------------	---	-----------------

上記内容で申請します

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

**【売上高減少方式】**

※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月と比べて  
令和3年の5～6月の売上高は減少していますか？

はい ↓ いいえ ↓

申請できません  
(中小企業者等の場合は、売上高方式(前頁)により申請できます)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年の5月の売上高 ① 円	+	令和元年又は令和2年の6月の売上高 ② 円	=	① + ② ③ 円		
令和3年の5月の売上高 ④ 円	+	令和3年の6月の売上高 ⑤ 円	=	④ + ⑤ ⑥ 円		
令和元年又は令和2年の5～6月の売上高計 ③ 円	-	令和3年の5～6月の売上高計 ⑥ 円	=	③ - ⑥ ⑦ 円		
⑦ 円	÷	61日	×	0.4	=	⑧ 円

※①と②の売上高は、同じ年の実績で統一してください。

千円単位切上

1日あたりの支給単価 ⑧ 円	千円単位切上	⑨ 000円
-------------------	--------	--------

※最大 20 万円

1日あたりの支給単価 ⑨ 000円	×	時短協力日数(最大 29日) ⑩ 日	=	当該店舗の支給額 ⑪ 000円
----------------------	---	-----------------------	---	--------------------

上記内容で申請します